

## ～ 全体活動 ～

冷たい風が吹く中、2月の全体活動として一般対応チームのガイドで園内を歩いた。「ミコアイサのオスってモノクロでお洒落じゃね!」「グミの実が残っているけどこれ何グミ?」「ここに生えていたカワラサイコなくなってしまったね!」「カヤネズミの巣があるよ!ネズミはおらんけど」この木にカワセミがよく来ていたよね!」そのこのヨシの中にいっぱいオオジュリンがあるよ!」などと多くの会話、質問が飛び出す。



これを受けてガイドは丁寧に回答した後「シギのクチバシが長いのはなぜ?」「チドリの眼がまんまる大きいのはなぜ?」と今度は逆質問をして興味をそらさない工夫もされていた。自然の不思議、面白さ、大切さを伝えるという活動を楽しまれているようだ。

屋内での活動が多い会員もいて、この日は久しぶりの外歩きで心と体に新鮮な空気が吹き込まれた。

「一般対応チームってこんな感じで来園された方を案内しているんだなあ」「さあ!うちのチームも頑張るぞ!」と大いに刺激をうけた2時間だった。

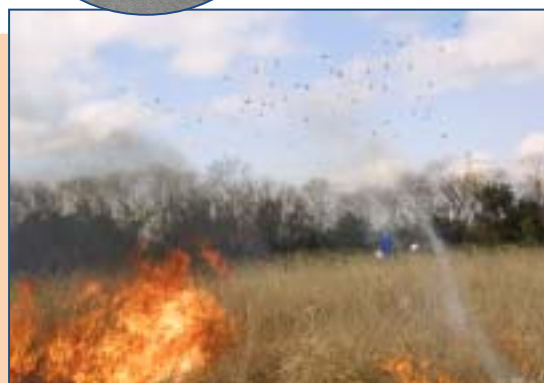
## ～ ヨ・シ・や・き・お・わ・る ～

3月10日(土)、予定より一週間順延してヨシ焼きが行われました。午前10時、風向きに注意しながら火が着けられました。



待機する消防車と

今年ヨシ原の西側半分、トンボ池の手前までの1.5haを焼きました。時折り冷たい風が強く吹きぬけるなか、火が暴走しないように細かく場所を区切りながら焼き進め、11時には予定面積を焼き終えました。ヨシ焼きの目的は、強いヨシの育成を促す、病虫害の駆除、ヨシ以外の草の発芽予防などが挙げられます。いまは黒く焼け焦げたヨシ原もやがて初夏を迎えるころ青々と茂り、生き物たちの楽しいライフステージとなります。



ヨシ焼きが終わると公園にも春が駆け足でやって来ます。